

6日

ドキドキ、ワクワク 町内の小中高校で入学式

4月6日～11日に町内の小中学校、高校で入学式が行われ121人の新入生が期待と希望に胸を膨らませて校門をくぐりました。

今年度は、小学生が50人(中央小29人、上厚真小21人)、中学生が31人(厚真中19人、厚南中12人)、厚真高校で40人が入学しました。

厚南中学校(細野輝彦校長)では新入生を代表して岩間堅士くんが「勉強や部活動に不安はありますが、どんな時も努力していきたいです」と誓いの言葉を述べていました。



誓いの言葉を述べる厚南中1年生の岩間くん

10日

ともいきの里で 春季消防演習を実施

厚真消防団・支署合同による春季合同模擬火災訓練が、ともいきの里で行われ、職団員73人が参加しました。

春の火災予防運動にあわせた恒例の訓練で、今年は高齢者生活福祉センター機械室での火災を想定。

参加した職団員は、きびきびとした動きで放水訓練や負傷者の救出などに取り組んでいました。



ともいきの里に向け放水する職団員ら

25日

(株)小泉農場で高精度自動操舵による イモの植え付けを実施

株式会社小泉農場(小泉修代表取締役)でRTK-GPSを用いたトラクターの自動走行によるイモの植え付け作業を実施しました。

同農場は町の農業ICT化普及推進事業を活用し、自動操舵機器を導入。人工衛星からの電波をトラクターの受信機で受信し、昨年度に設置した基地局からの電波をスマートフォンで受信しながら現在地の補正を行うため、正確な位置情報が得られる仕組みです。

誤差がほとんどない畝が出来上がる様子を見ていたJAとまこまい広域や胆振農業改良普及センターなどの職員からは、期待の声が上がっていました。



自動走行するトラクターによる植え付け作業

27日

高齢者大学に9人の新入生が入学

平成29年度の町高齢者大学入学式が、総合福祉センターで行われました。今年度の学生は新入生9人が加わり、計82人。大学では2月を除き毎月、交通安全や防犯、介護予防の学習のほか、生け花教室や料理教室、研修旅行などが計画されています。



入学式に参加した新入生

3日

地域おこし協力隊と地域おこし交流企業人の4人に委嘱状を交付

地域おこし協力隊と地域おこし交流企業人の委嘱状交付式が行われ、起業型地域おこし協力隊の佐藤稔さん(37歳)と西埜将世さん(36歳)、地域おこし協力隊・農業支援員の酒井美和さん(34歳)、地域おこし交流企業人の三浦卓也さん(41歳)の4人に宮坂町長が委嘱状を手渡しました。

起業型地域おこし協力隊は、町内で起業することをめざす方で今年度から新設されたもの。

また、佐藤さん、西埜さん、三浦さんの3人は昨年度町で開催したローカルベンチャースクールに参加し、厚真町での仕事を希望していました。

強い決意を持った4人は、厚真町での新しい生活に期待を寄せていました。



右から佐藤さん、三浦さん、宮坂町長、酒井さん、西埜さん

4日

建設協会が道路清掃奉仕

厚真建設協会(鈴木英毅会長)による上厚真市街地と厚真市街地の道路清掃が行われました。

冬期間にたまった砂やほこりを一掃し、子どもたちなどが気持ちよく登校してもらおうと、昭和62年から始まったボランティア活動。

当日は16社約30人が参加し、竹ぼうきや送風機などを使って歩道や車道脇の清掃作業を行い、まちをきれいにしていました。



砂やほこりを送風機で除去

6日

ドライバーへ交通安全を呼びかけ セーフティコール

春の交通安全運動の一環として、厚真市街地でセーフティコールが行われ、町内の各団体・事業所などから約100人が参加しました。

開会式で町交通安全推進委員会会長の宮坂町長が「交通事故死をゼロにするために運動を続けてほしい」とあいさつ。

その後、参加者が道路の両脇に分かれ、「交通安全」、「シートベルトを着用しよう」等と書かれたのぼりを掲げ、ドライバーに交通安全・事故防止を呼びかけていました。



たすきやのぼりを使い交通安全を呼びかけ